

平成29年3月度活動報告

1. 総括

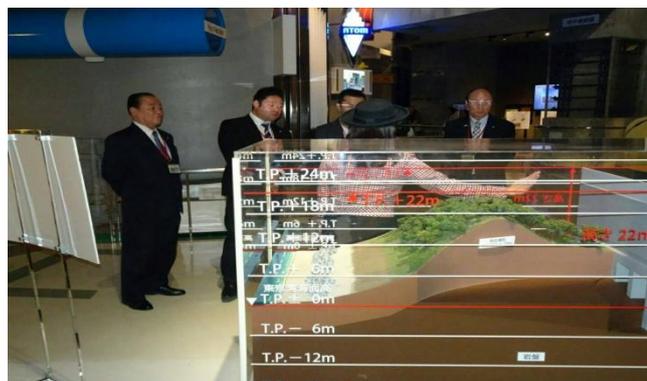
節目の3月も多くの方からご支援を頂き議員活動に邁進させて頂きました。誠に有難うございました。3月は平成29年度の当初予算を審議する重要な市議会定例会(2/23～3/21)があり、市長より提案されました当初予算案を侃々諤々議論、審議させて頂きました。私自身と致しましては、平成28年度中に積極的に取組み行政側と議論をしておりました、通学困難地域(東浦地区・東郷地区)からのスクールバス運行の新規予算や観光協会補助金の拡大予算などが予算計上されており前向きに評価できる予算内容でありました。本会議最終日には「一般会計補正予算」に対する賛成討論をさせて頂き、可決の運びとなりました。その他、上程された議案すべて可決となりました。

(一般会計：252億5,326万9千円、特別会計：190億6,672万6千円、企業会計103億1,073万4千円、合計：546億2,072万9千円)

敦賀市もいよいよ北陸新幹線開業まで6年を切り、新幹線開業の好影響をしっかりと取り込んで行く為の受け皿づくり、街づくりを加速させていかななくてはなりません。特に新幹線の駅舎ができる駅周辺(西側・東側)～氣比神宮までの国道8号空間活用整備～港(金崎宮)周辺は敦賀の歴史・伝統・文化が集積されている非常に潜在能力がある場所です。回遊性が高まる一貫性のある整備をして経済活性化の観点からも民間と行政が力を合わせて多くの観光客や敦賀市民で賑わう場所にしていく必要があります。年間約70万人の参拝客が訪れ、国の名勝にも指定された「氣比神宮」の参拝客が周辺を回遊したいと思う仕掛けや、新幹線で敦賀を訪れた観光客が港周辺まで回遊する仕組み等、賑わいがある中で敦賀商人が商いをして敦賀の良いものをPR・販売し敦賀の魅力を発信していく。この為には民間と行政がしっかりと力を合わせられるまちづくりをしなければならないと強く感じております。一議員で微力ですが選挙においても「行動力で元気な敦賀を次の世代に残す!!」を掲げてご支持を頂き、また中心市街地在住で地元でもありますので、今後もご指導を頂きながら有言実行で敦賀が元気になるように頑張ってお参ります。今後ともご指導の程宜しくお願い申し上げます。

2. 中部電力浜岡原発視察(3/29)概要報告

会派で中部電力浜岡原発へ視察をし、地震・津波対策や重大事項等対策の状況等拝見した。新規規制基準への審査の為、できる対策はすべてやるというぐらいの取組みであり、海に面している部分については海拔22メートル、長さ1.6kmの防波壁と側面については改良盛土(22～24m)で防御されていた。浜岡原発は1～5号機まであり、最新の5号機内部にも入り検査状況等の説明を受けた。発電所内部に入るのは初めての経験であり立地地域の議員としてまだまだ勉強不足であると痛感した。発電所と隣接する浜岡原子力館は年間約17万人訪れているようで、視察当日も子ども連れも多く年間様々にイベントも開催されていることから原子力発電の地元理解は大きく広がっている様に見える。今後、国のエネルギー政策がはっきりしていく中で安全を確保した形でエネルギー効率が良く、クリーンエネルギーである原子力発電の方向性を見極めて行きたい。



以上